

がんと就労



第六回勉強会報告書



「働くがん患者と家族に向けた包括的就業支援システムの構築に関する研究」班
研究代表者 獨協医大公衆衛生学講座 高橋 都
厚生労働省がん臨床研究事業（H22 | がん臨床 | 一般 | 008）

目次

第一部	がん治療を受ける就労者に向けた支援 — 足利銀行における実践 — ……………	p 1
第二部	新日鐵での「がん」に対する取り組み — 産業医の頭の中 — ……………	p 13
第三部	総合討論 ……………	p 25



「がんと就労」勉強会について

この勉強会は、厚生労働省がん臨床研究事業（H22-がん臨床-一般-008）「働くがん患者と家族に向けた包括的就業支援システムの構築に関する研究」班の活動の一環として、隔月で開催されております。

オープン参加ですので、どのようなお立場の方でもご参加いただけます。がんと就労について、さまざまな視点から広く話し合うフォーラムづくりを目指しています。



第6回「がんと就労」勉強会

日時：平成23年7月25日（月）午後6:30－8:30（6:15受付開始）

場所：ラーニングスクエア新橋 4階会議室4B

会場アクセス <http://www.learningsite21.com/ls4/e01.html>



がんと就労



第七回勉強会報告書

「働くがん患者と家族に向けた包括的就業支援システムの構築に関する研究」班
研究代表者 獨協医大公衆衛生学講座 高橋 都
厚生労働省 がん臨床研究事業（H22ーがん臨床ー一般ー008）

目次

第一部	体験談：山田 裕一さん 「がんと就労」～私の場合～ ……………	p 1
第二部	体験談：小坂 聖さん がん体験とそれに伴う就労の実例報告 ……………	p 15
第三部	総合討論 ……………	p 25



「がんと就労」勉強会について

この勉強会は、厚生労働省がん臨床研究事業（H22-がん臨床-一般-008）「働くがん患者と家族に向けた包括的就業支援システムの構築に関する研究」班の活動の一環として、隔月で開催されております。

オープン参加ですので、どのようなお立場の方でもご参加いただけます。がんと就労について、さまざまな視点から広く話し合うフォーラムづくりを目指しています。



第7回「がんと就労」勉強会

日時：平成23年9月20日（火）午後6:30－8:30（6:15受付開始）

場所：主婦会館プラザエフ4階会議室「シャトレ」（JR四ツ谷駅麴町口から徒歩1分）

会場アクセス http://www.plaza-f.or.jp/access_index.html



がんと就労



第八回勉強会報告書

「働くがん患者と家族に向けた包括的就業支援システムの構築に関する研究」班
研究代表者 獨協医大公衆衛生学講座 高橋 都
厚生労働省 がん臨床研究事業（H22 | がん臨床 | 一般 | 008）

目次

第一部	キンバリー・フォーサイス・フェリスさん 非営利支援団体の資金調達と効果的な運営について	p 1
第二部	総合討論	p 19



「がんと就労」勉強会について

この勉強会は、厚生労働省がん臨床研究事業（H22-がん臨床-一般-008）「働くがん患者と家族に向けた包括的就業支援システムの構築に関する研究」班の活動の一環として、隔月で開催されております。

オープン参加ですので、どのようなお立場の方でもご参加いただけます。がんと就労について、さまざまな視点から広く話し合うフォーラムづくりを目指しています。



第8回「がんと就労」勉強会

日時：平成23年11月9日（水）午後6:30－8:30（6:15受付開始）

場所：主婦会館プラザエフ4階会議室「シャトレ」（JR四ツ谷駅麴町口から徒歩1分）

会場アクセス http://www.plaza-f.or.jp/access_index.html

第8回勉強会は、財団法人主婦会館と本研究班の共催で開催いたしました。



がんと就労



第九回勉強会報告書

「働くがん患者と家族に向けた包括的就業支援システムの構築に関する研究」班
研究代表者 獨協医大公衆衛生学講座 高橋 都
厚生労働省がん臨床研究事業（H22「がん臨床」一般-008）

目次

第一部	若年がんに関する海外動向 丸 光恵 (東京医科歯科大学 国際看護開発学)	p1
第二部	若年がんを経験して、生きていくということ 多和田 奈津子 (悪性リンパ腫患者・家族連絡会グループ・ネクサス) …	p13
第三部	総合討論	p25



「がんと就労」勉強会について

この勉強会は、厚生労働省がん臨床研究事業（H22-がん臨床-一般-008）「働くがん患者と家族に向けた包括的就業支援システムの構築に関する研究」班の活動の一環として、隔月で開催されております。

オープン参加ですので、どのようなお立場の方でもご参加いただけます。がんと就労について、さまざまな視点から広く話し合うフォーラムづくりを目指しています。



第9回「がんと就労」勉強会

日時：平成24年5月29日（火）午後6:30－8:30（6:15 受付開始）

場所：主婦会館プラザエフ4階会議室「シャトレ」（JR四ツ谷駅麴町口から徒歩1分）

会場アクセス http://www.plaza-f.or.jp/access_index.html

「がんと就労」シンポジウム

厚生労働省科学研究補助金がん臨床研究事業
高橋班主催公開シンポジウム

日時 2011年2月5日(土)午後1時半～(午後1時受付開始)

会場 こどもの城 8階研修室(東京・青山学院大学向い)

参加費無料 **定員100名** ※事前申込が必要です。詳しくはホームページにて
<http://www.cancer-work.jp>

プログラム

1. 厚労科研「がんと就労」研究班の活動概略(獨協医科大学 高橋 都)
2. 小児がんサバイバーの長期フォローアップに関する看護師の認識と課題(東京医科歯科大学 丸 光恵)
3. 子宮頸がんサバイバーの就業に影響を与える要因: 身体症状・日常生活面への看護に関するレビューより(東京医科歯科大学 江川 京子)
4. がんと就労に関する海外の支援活動および教材の分析(獨協医科大学 高橋 都)
5. がん患者の復職および就業支援に対する現状調査～専属産業医の関わりについて(産業医科大学産業医実務研修センター 立石 清一郎、森 晃爾)
6. がん専門医の患者の就労に関する意識と医療機関の体制の現状(北里大学 和田 耕治)
7. 総合討論

長くつきまとう慢性病に変化しているがん。
「がんサバイバーシップ」の考え方と、職場や医療現場での支援力の強化が課題に――。

がんと就労

厚生労働省科学研究補助金がん臨床研究事業
高橋班主催公開シンポジウム

平成22年度厚生労働省がん臨床研究補助金H22「がんサバイバー」(一般1008)
「働くがん患者と家族に向けた包括的支援システム」の構築に関する研究一班 研究代表者 獨協医科大学 高橋 都



ご挨拶

本日はご来場を賜り、誠に有難うございます。本シンポジウムでは、厚生労働省科学研究費がん臨床研究事業（H22—がん臨床—一般—008）「働くがん患者と家族に向けた包括的就業支援システムの構築に関する研究」班の平成22年度（3年プロジェクトの初年度）の活動を皆様にご報告申し上げます。

がん診断後の暮らしにおいて「働くこと」はきわめて重要な意味を持ちます。ご本人やご家族にとって就労は、経済的不安の軽減はもちろんのこと、生きる活力源になります。職場にとっても貴重な人材の活用は重要課題ですし、社会全体の活性化にもつながります。しかし実際には、がん治療を受けるご本人やケアの担い手であるご家族の多くが就労に関連してさまざまな困難に直面し、相談窓口も乏しいのが現状です。

充実した就労を実現するためには、ご本人やご家族、職場関係者（経営者・上司・同僚

プログラム・抄録

① 13:40～14:00

厚労科研「がんと就労」研究班の活動概略

（獨協医科大学公衆衛生学講座 高橋 都）

「がんと就労」研究班の概略について、活動の目標、研究班メンバー、ならびに初年度である平成22年度の研究成果について報告する。平成23年度以降の活動予定についても発表する。

② 14:00～14:20

小児がんサバイバーの長期フォローアップに関する看護師の認識と課題

（東京医科歯科大学国際看護開発学 丸 光恵）

小児がん患者の治療成績の向上は目覚ましく、5年生存率は70～80%に上昇している。本発表では、小児がん経験者の就労に向けた課題や国内外の支援の現状をまとめるとともに、現在進行中の、小児がん経験者長期フォローアップに関する小児がん治療施設の看護師調査の概要について報告する。

③ 14:20～14:40

子宮頸がんサバイバーの就業に影響を与える要因：身体症状・日常生活面への看護に関するレビューより
（東京医科歯科大学国際看護開発学 江川 京子）

子宮頸がんの5年生存率は80～90%に達しているが、多くの子宮頸がん患者は初回治療以降外来通院を余儀なくされ、日常生活における心身の負担から就労継続が困難になる例も多い。本発表では、子宮頸がんサバイバーの身体的問題に関する国内外の文献・資料のレビューに基づき、日常生活上の問題点と就労への影響について報告する。文献レビューの結果をもとに、来年度には調査を予定している。

<休憩 15分>

など)、病院関係者（主治医・看護師・医療ソーシャルワーカーなど）、職場の産業保健関係者（産業医・産業保健師など）といった関係者の間で、過不足のない情報共有や有機的な連携が欠かせません。本プロジェクトは、これら多様な背景を持つ各関係者の視点を生かし、がん患者の就労に向けた課題を明らかにするとともに、わが国の実情に基づいた効果的な支援リソースの開発と評価を目指しています。本日は、皆様から広くご意見をいただき、次年度以降の活動に生かしていきたいと存じます。本プロジェクトに一層のご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

研究代表者 獨協医科大学公衆衛生学講座 高橋 都

④ 14:55～15:15

**がんと就労に関する海外の支援活動および教材の分析
(獨協医科大学公衆衛生学講座 高橋 都)**

海外のがん患者支援団体が就労支援に向けて開発した資料を参考にしてわが国における支援リソース作成の方向性を検討する目的で、北米、ヨーロッパ、オセアニア、アジアの9団体が公開している12教材を収集・分析した。使用対象としては、患者本人、職場関係者、医療関係者、労組関係者向けの教材が作成されていた。本発表では各教材が対象者別にどのような助言をしているか報告するとともに、わが国の教材に求められる内容について考察する。

⑤ 15:15～15:35

**がん患者の復職および就業支援に対する現状調査～ 専属産業医の関わりについて
(産業医科大学産業医実務研修センター 立石 清一郎、森 晃爾)**

労働者ががん治療による休職から復職する際には、産業医による適切な病状把握が重要である。労働者と現場スタッフや人事との効果的な情報共有のあり方を検討することを目的として、専属産業医5名を対象として実施したインタビュー調査の結果を報告する。来年度は現状の支援に対する就労がん患者側の満足度調査を行い、広く一般化できる産業医向けの就業支援ツールの作成を目指す。

⑥ 15:35～15:55

**がん専門医の患者の就労に関する意識と医療機関の体制の現状
(北里大学医学部衛生・公衆衛生学 和田 耕治)**

がん患者の就労支援については、主治医であるがん専門医師の協力が必須である。本発表では、日本臨床腫瘍学会の専門医・指導医約435名を対象として実施した、患者の就労に関するがん専門医の意識と医療機関の支援体制に関する調査の結果を報告する。質問項目には、がん専門医師としての患者の仕事に関する意識や配慮、仕事の継続に向けた患者への助言、医療機関の治療体制を患者のニーズに合わられるかどうか等を含む。

⑦ 16:00-16:40 総合討論



「がんと就労」勉強会の記録（敬称略）

【会場】ラーニングスクエア新橋（JR 新橋駅烏森口より徒歩 2 分）

【定員】50 名

第 1 回 平成 22 年 9 月 6 日（月）午後 6 時半～8 時半

「本研究班の概略」獨協医科大学公衆衛生学講座准教授 高橋 都

「がんと就労～私の場合」アイ・ギーグ株式会社取締役 内田スミスあゆみ

第 2 回 平成 22 年 11 月 15 日（月）午後 6 時半～8 時半

「アメリカ障害者法 (ADA) における『合理的配慮』とは何か」

(独) 高齢・障害者雇用支援機構障害者職業総合センター上席研究員 春名由一郎

[指定コメント] 近藤社会保険労務士事務所代表 近藤明美

第 3 回 平成 23 年 1 月 31 日（月）午後 6 時半～8 時半

「がんと就労－支援に向けた現場の課題」

[産業界の立場から] 北里大学医学部公衆衛生学講師 和田耕治

[がん治療医の立場から] 聖隷浜松病院化学療法科部長 金 容竜

第 4 回 平成 23 年 3 月 7 日（月）午後 6 時半～8 時半

「がん患者就労支援の実践～NPOと株式会社を通じた多角的活動から」

特定非営利活動法人 HOPE ★プロジェクト代表

キャンサー・ソリューションズ株式会社 代表取締役社長 桜井なおみ

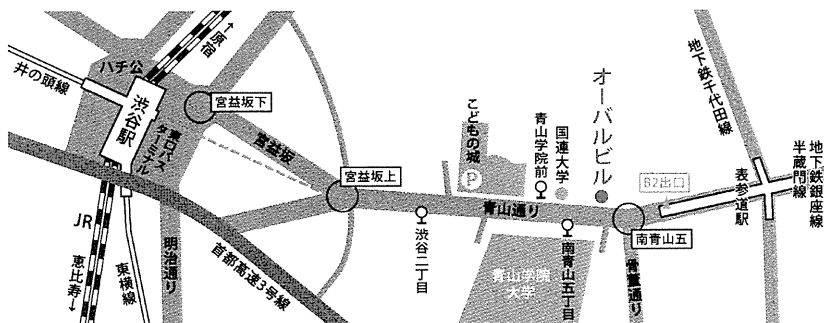
※第 4 回に参加ご希望の方、ならびに過去の勉強会の報告書をご希望の方は、プロジェクト本部 info@cancer-work.jp までお申し込みください。

交流会のお知らせ（立食形式）

【日時】2011 年 2 月 5 日（土）
17:30～19:30

【会場】マザーリーフ
青山オーバルビル店（ビル B1）
TEL. 03-3499-6243

【会費】5,000 円（当日申込可）
※受付でお申し込みください。



平成 22 年度厚生労働省 がん臨床研究事業（H22-がん臨床一般-008）

「働くがん患者と家族に向けた包括的就業支援システムの構築に関する研究」班

研究代表者 獨協医大公衆衛生学講座 高橋 都

【研究班本部】獨協医科大学公衆衛生学講座

321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林 880 番地

e-mail. info@cancer-work.jp URL. <http://www.cancer-work.jp>

「がんと就労」シンポジウム 厚生労働省科学研究補助金 がん臨床研究事業
高橋班主催 公開シンポジウム

日時 2012年1月28日(土)午後1時半～(午後1時受付開始)

会場 主婦会館プラザエフ 7階カトリア (JR四ツ谷駅 麴町口前)

参加費無料 定員150名



獨協医科大学公衆衛生学講座 321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880番地
TEL.0282-87-2133 (講座直通) FAX.0282-86-2935
URL. <http://www.cancer-work.jp> e-mail. info@cancer-work.jp

がんと就労



厚生労働省科学研究補助金 がん臨床研究事業
高橋班主催 平成23年度成果報告シンポジウム
平成23年度厚生労働省 がん臨床研究事業(日22「がん臨床」一巻)008
「働くがん患者と家族に向け社会的就業スキルの構築に関する研究」 研究代表者 獨協医大公衆衛生学講座 高橋 都

長くつきあう慢性病に変化しているがん。「がんサバイバーシップ」の考え方と、職場や医療現場での支援力の強化が課題に――。

ご挨拶

本日はご来場を賜り、誠に有難うございます。本シンポジウムでは、厚生労働省科学研究費がん臨床研究事業（H22—がん臨床—一般—008）「働くがん患者と家族に向けた包括的就業支援システムの構築に関する研究」班の平成23年度（3年プロジェクトの2年目）の活動を皆様にご報告申し上げます。

充実した就労を実現するためには、ご本人とご家族、職場関係者（経営者・上司・同僚など）、病院関係者（主治医・看護師・医療ソーシャルワーカーなど）、職場の産業保健スタッフ（産業医・産業看護職など）の間で、過不足のない情報共有や有機的な連携が欠かせません。平成23年度は、ご本人とご家族の就労の変化や、様々な関係者の支援状況に関する調査を実施し、異なる立場で直面する困難や課題を探索的に明らかにしました。本研究班では、がんと就労の問題に関わる多角的な視点に基づき、わが国の実情に即した効果的な支援リソースの開発と評価を進めていく予定です。

本日は皆様から広くご意見をいただき、ぜひ来年度の活動に生かしていきたいと存じます。本プロジェクトに一層のご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

研究代表者 獨協医科大学公衆衛生学講座 高橋 都

「がんと就労に関するアンケート」実施中です。（調査期間 2012年1月31日まで）
研究班ホームページから調査ページにアクセスできます。
<http://www.cancer-shigoto.com/ippan/>

「がんと就労」勉強会の記録（敬称略）

第1回 平成22年9月6日(月) 午後6時半～8時半

「本研究班の概略」獨協医科大学公衆衛生学講座准教授 高橋 都
「がんと就労～私の場合」アイ・ギーク株式会社取締役 内田スミスあゆみ

第2回 平成22年11月15日(月) 午後6時半～8時半

「アメリカ障害者法(ADA)における『合理的配慮』とは何か」
(独)高齢・障害者雇用支援機構障害者職業総合センター上席研究員 春名由一郎
[指定コメント] 近藤社会保険労務士事務所代表 近藤明美

第3回 平成23年1月31日(月) 午後6時半～8時半

「がんと就労—支援に向けた現場の課題」
[産業医の立場から] 北里大学医学部公衆衛生学講師 和田耕治
[がん治療医の立場から] 聖隷浜松病院化学療法科部長 金 容吉

第4回 平成23年3月7日(月) 午後6時半～8時半

「がん患者就労支援の実践～NPOと株式会社を通じた多角的活動から」
特定非営利活動法人 HOPE★プロジェクト代表
キャンサー・ソリューションズ株式会社 代表取締役社長 桜井なおみ

第5回 平成23年5月16日(月) 午後6時半～8時半

「障害者雇用を広げる、育む」
サンクステンブ株式会社〈テンプホールディングス特例子会社〉
取締役経営企画本部長 大曲 敏之 人財開発室長 工藤 雅子

第6回 平成23年7月25日(月) 午後6時半～8時半

「がん治療を受ける就労者に向けた支援—足利銀行における実践—」
株式会社 足利銀行 人事部 産業保健師 湯澤洋美
「新日鐵での「がん」に対する取り組み—産業医の頭の中—」
新日鐵名古屋製鐵所 安全環境防災部 安全健康 Gr. 医長(産業医) 田中 完

第7回 平成23年9月20日(火) 午後6時半～8時半

「体験談：「がんと就労」～私の場合～」
オリンパスイメージング株式会社 商品開発部 山田 裕一
「体験談：がん体験とそれに伴う就労の実例報告」 小坂 聖

第8回 平成23年11月9日(水) 午後6時半～8時半

「非営利支援団体の資金調達と効果的な運営について」
タイラー基金 理事長 キンバリー・フォーサイス・フェリス

プログラム

- ❶ 13:30～13:50 本年度の研究成果の概要【獨協医大 高橋 都】
 - ❷ 13:50～14:00 閉経前子宮頸がんの治療と患者の就労問題
【東京医科歯科大 江川 京子】
 - ❸ 14:00～14:10 乳がん患者と夫の心身適応と就労問題【獨協医大 高橋 都】
 - ❹ 14:10～14:20 患者と家族の就労実態インターネット調査
【患者作業部会 鈴木 信行(患医ねっと)】
 - ❺ 14:20～14:30 がんサバイバーの就労問題の障害構造論による分析
【障害者職業総合センター 春名 由一郎】
- <休憩 15分>
- ❻ 14:45～14:55 小児がん治療終了者の看護の現状【東京医科歯科大 丸 光恵】
 - ❼ 14:55～15:05 がんと就労に関する産業看護職の支援の実際と課題<第1報>
フォーカスグループインタビューより
【東京有明医療大学 吉川 悦子】
 - ❽ 15:05～15:15 がんと就労に関する産業看護職の支援の実際と課題<第2報>
質問紙調査より【東海大学 錦戸典子、岡久ジュン】
 - ❾ 15:15～15:25 がん患者の就労支援に関するがん専門医の意識と医療提供体制
の現状に関する調査【新日鐵名古屋製鐵所 田中 完】
 - ❿ 15:25～15:35 がんと就労における産業医の視点ー日本産業衛生学会専門医・
指導医の意識調査【産業医大 田中 宣仁】
 - ⓫ 15:35～15:45 産業医向け:がん就労支援マニュアルβ版の作成 ～産業衛生専
門医・指導医のアンケートをもとに～【産業医大 立石 清一郎】
- <休憩 15分>
- ⓬ 16:00～16:45 総合討論
-
- 17:30～19:30 **交流会開催**

【会場】主婦会館 8F スイセン

【会費】5,000円(当日申込可※受付でお申し込みください。)



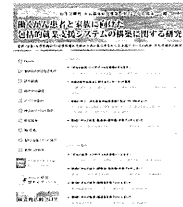
がんと就労

(H22-がん臨床一般-008)
厚労科研

<http://www.cancer-work.jp>

ホームページもご覧ください。

ホームページでは、「がんと就労」勉強会・シンポジウムのご案内、活動報告ブログ、過去勉強会報告書の配布(pdf)と申し込み受付(在庫が有る報告書を郵送)などを行っております。



平成 23 年度厚生労働省 がん臨床研究事業 (H22-がん臨床一般-008)
「働くがん患者と家族に向けた包括的就業支援システムの構築に関する研究」班
研究代表者 獨協医大公衆衛生学講座 高橋 都

【研究班本部】獨協医科大学公衆衛生学講座
321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林 880 番地
e-mail. info@cancer-work.jp URL. <http://www.cancer-work.jp>

「がんと就労」シンポジウム 厚生労働省科学政策推進室 がん臨床研究事業 高橋班主催 公開シンポジウム

日時 2012年12月15日(土)午後1時～(午後12時30分受付開始) 参加費無料 定員150名

会場 主婦会館プラザエフ 7階カトレア (JR四ツ谷駅 麹町口前)

※事前申込が必要です。詳しくはホームページにて <http://www.cancer-work.jp>



がんと就労



厚生労働省科学政策推進室 がん臨床研究事業
高橋班主催 平成24年度成果報告シンポジウム
厚生労働省 がん臨床研究事業 H24「がん臨床」一級(1008)
「働くがん患者と家族に向けた包括的支援システム」の構築に関する研究二種 研究代表者 高橋班 高橋都

長くつきあう慢性病に変化しているがん。「がんサバイバーシップ」の考え方と、職場や医療現場での支援力の強化が課題に――。

獨協医科大学公衆衛生学講座 321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880番地
TEL.0282-87-2133(講座直通) FAX.0282-86-2935
URL. <http://www.cancer-work.jp> e-mail. info@cancer-work.jp

ご挨拶

本日はご来場を賜り、誠に有難うございます。本シンポジウムでは、厚生労働省科学研究費がん臨床研究事業（H22- がん臨床 - 一般 -008）「働くがん患者と家族に向けた包括的就業支援システムの構築に関する研究」班の平成24年度（3年プロジェクトの最終年度）の活動をご報告します。

働くがん患者への支援は平成24年度から始まった第2期がん対策推進基本計画にも重要課題として盛り込まれました。今後、医療現場、職場、地域コミュニティのそれぞれにおいて、さまざまな関係者による実践や連携が一層求められます。

本シンポジウムでは、研究班のこれまでの調査等に基づいて開発した各種支援ツールを公開し、皆様から広くご意見をいただきたいと存じます。

ぜひ、活発なご討議をよろしくお願いいたします。

研究代表者 獨協医科大学公衆衛生学講座 高橋 都

「がんと仕事のQ&A」と「従業員支援マニュアル」パイロット版へのご意見を募集しております。研究班ホームページからダウンロードページにアクセスできます。

【ダウンロードページ】<http://www.cancer-shigoto.com/>

「がんと就労」勉強会の記録（敬称略）

第1回 平成22年9月6日（月）午後6時半～8時半

「本研究班の概略」獨協医科大学公衆衛生学講座准教授 高橋 都
「がんと就労～私の場合」アイ・ギング株式会社取締役 内田スミスあゆみ

第2回 平成22年11月15日（月）午後6時半～8時半

「アメリカ障害者法(ADA)における『合理的配慮』とは何か」
(独) 高齢・障害者雇用支援機構障害者職業総合センター上席研究員 春名由一郎
【指定コメント】近藤社会保険労務士事務所代表 近藤明美

第3回 平成23年1月31日（月）午後6時半～8時半

「がんと就労－支援に向けた現場の課題」
【産業医の立場から】北里大学医学部公衆衛生学講師 和田耕治
【がん治療医の立場から】聖隷浜松病院化学療法科部長 金 容希

第4回 平成23年3月7日（月）午後6時半～8時半

「がん患者就労支援の実践～NPOと株式会社を通じた多角的活動から」
特定非営利活動法人 HOPE ★プロジェクト代表
キャンサー・ソリューションズ株式会社 代表取締役社長 桜井なおみ

第5回 平成23年5月16日（月）午後6時半～8時半

「障害者雇用を広げる、育む」
サンクステン株式会社（テンポホールディングス特例子会社）
取締役経営企画本部長 大曲 敏之、人財開発室長 工藤 雅子

第6回 平成23年7月25日（月）午後6時半～8時半

「がん治療を受ける就労者に向けた支援－足利銀行における実践－」
株式会社 足利銀行 人事部 産業保健師 湯澤洋美
「新日鐵での「がん」に対する取り組み－産業医の頭の中－」
新日鐵名古屋製鐵所 安全環境防災部 安全健康 Gr. 医長（産業医）田中 完

第7回 平成23年9月20日（火）午後6時半～8時半

「体験談：「がんと就労」～私の場合～」
オリンパスイメージング株式会社 商品開発部 山田 裕一
「体験談：がん体験とそれに伴う就労の実例報告」 小坂 聖

第8回 平成23年11月9日（水）午後6時半～8時半

「非営利支援団体の資金調達と効果的な運営について」
タイラー基金 理事長 キンバリー・フォーサイス・フェリス

第9回 平成24年5月29日（火）午後6時半～8時半

「若年がんに関する海外動向」
東京医科歯科大学 国際看護開発学 丸 光恵
「若年がんを経験して、生きていくということ」
悪性リンパ腫患者・家族連絡会グループ・ネクサス 多和田 奈津子

プログラム

- ① 13:00～13:05 開会の挨拶【獨協医大 高橋 都】
- ② 13:05～13:15 本年度の研究成果の概略【獨協医大 高橋 都】
- ③ 13:15～13:40 がんと仕事の Q&A ～がんサバイバーの就労体験に学ぶ
【患者作業部会 内田スミス あゆみ】
- ④ 13:40～14:20 <医療機関での就労支援>
- 医師と看護師の立場から【北里大学 和田 耕治】
医療ソーシャルワーカーの立場から【東海大学 堀越 由紀子】

<休憩 10分>

- ⑤ 14:30～15:15 <職場における就労支援>
- 企業のためのがんと診断された従業員支援マニュアル
上司・同僚ができること【東海大学 錦戸 典子】
人事・経営者に期待すること【産業医大 立石 清一郎】
 - 嘱託産業医向け支援ガイドブック
【パナソニック(株)エコソリューションズ社 産業医 田中 宣仁】
 - 産業看護職向け支援ガイドブック
【東京有明医療大学 吉川 悦子】

<休憩 5分>

- ⑥ 15:20～16:20 総合討論【司会：産業医大 森 晃爾】
- ⑦ 16:20～16:30 今後に向けて【獨協医大 高橋 都】
-

- 17:30～19:30 **交流会開催**
【会場】主婦会館 2F レストランエフ
【会費】5,000円(当日申込可※受付でお申し込みください。)



がんと就労

(H22-がん臨床-一般-008)

厚労科研

<http://www.cancer-work.jp>

ホームページもご覧ください。

ホームページでは、「がんと就労」勉強会・シンポジウムのご案内、活動報告ブログ、過去勉強会報告書の配布(pdf)と申し込み受付(在庫が有る報告書を郵送)などを行っております。



厚生労働省 がん臨床研究事業 (H22-がん臨床-一般-008)

「働くがん患者と家族に向けた包括的就業支援システムの構築に関する研究」班

研究代表者 獨協医大公衆衛生学講座 高橋 都

【研究班本部】獨協医科大学公衆衛生学講座

321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林 880 番地

e-mail. info@cancer-work.jp URL. <http://www.cancer-work.jp>